

## 第6回 CEARAC フォーカルポイント会合の結果について

平成20年3月8日(土)

NOWPAP CEARAC

### 1. 概要

「第6回 CEARAC フォーカルポイント会合」が3月6日(木)、8日(土)に富山市内で開催されました。

本会議は、国連環境計画(UNEP)の北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)の活動拠点の一つである CEARAC (NPEC が指定されている)の今後の活動方針を議論するための調整助言会議(フォーカルポイント会合)であり、昨年中国・廈門にて開催された第12回 NOWPAP 政府間会合で承認された CEARAC の2008~2009年の活動について、より詳細な活動計画が話し合われ、合意されました。

### 2. 日程及び開催場所

3月6日(木)及び8日(土) タワー111 2階 会議室1

### 3. 出席者

CEARAC フォーカルポイント(日本、中国、韓国及びロシアの各国の政府代表者及び専門家)、他の NOWPAP 地域活動センターの代表者、NOWPAP RCU コーディネーター等約20名 [議長:ウラジミール・シュルキン(ロシア)、レオニド・ミトニック(ロシア)、書記:チュアンチン・ウ(中国)]

### 4. 主な結果

#### (1) CEARAC の2006-2007年の活動報告(6日)

<ワーキンググループ3(HAB(赤潮/有害藻類の異常繁殖))の活動報告>

- ・日本や韓国周辺で近年頻繁に発生し、大きな被害をもたらしているコクロディニウム(赤潮プランクトンの一種)の特徴や発生メカニズムなどについて、日本語、中国語、韓国語及びロシア語のパンフレットを作成したことが報告されました。
- ・「赤潮/有害藻類発生後の被害回避・低減のための対策事例集」の冊子とCD版を作成したことが報告されました。

<ワーキンググループ4(リモートセンシング)の活動報告>

- ・NPEC が作成した富山湾をモデルとした衛星データを用いた富栄養化モニタリングガイドラインをもとに NOWPAP 各国の状況に対応した富栄養化モニタリングガイドラインを作成したことが報告されました。
- ・平成19年9月3日~7日まで長崎で開催された「第1回 NEAR-GOOS・NOWPAP リモートセンシングデータ解析合同トレーニングコース」開催結果が報告されました。

<海洋ごみに関する活動>

・NOWPAP RCU が主導で進めている NOWPAP 地域の海洋ごみに関する活動 (MALITA) のもとで CEARAC が担当した次の活動について報告がされました。

- ・ NOWPAP 漂着海洋ごみモニタリングガイドラインの作成
- ・ 旅行者・旅行者のためのガイドラインの作成
- ・ 第 2 回 NOWPAP 海洋ごみワークショップ (2007 年 3 月富山市) の開催
- ・ 海洋ごみ削減のためのパンフレットの作成
- ・ プラスチック海洋ごみのリサイクル事例集の作成
- ・ 意識向上のためのモニタリング調査の実施

(2) 2008～2009 年の CEARAC の活動計画と予算 (6 日)

- ・ 2007 年 10 月中国・廈門で開催された第 12 回 NOWPAP 政府間会合の結果が報告されました。
- ・ 第 12 回 IGM で承認をうけて変更された CEARAC の 2008～2009 年における活動計画が示されました。
- ・ 以下の 5 つの新たな活動について、事務局から具体的な活動計画の説明が行われました。

(詳細：別紙参照)。

- 1) HAB ケーススタディの実施 (ワーキンググループ 3)
  - 2) HAB 統合ウェブサイトからの情報提供の実施 (ワーキンググループ 3)
  - 3) 海洋環境リモートセンシング活用教材開発の実施 (ワーキンググループ 4)
  - 4) 第 2 回 NOWPAP リモートセンシングデータ解析トレーニングの開催 (ワーキンググループ)
  - 5) NOWPAP 富栄養化状況評価手順書の作成 (ワーキンググループ 3 及び 4 合同)
- ・ NOWPAP 海洋ごみ地域活動計画 (RAP MALI) に基づく CEARAC 海洋ごみ活動
  - ・ 出席者による議論の結果、おおむね原案通り実施することが承認されました。

なお、今後の CEARAC フォーカルポイント会合及び両ワーキンググループ 3・4 会合の開催予定は次のとおりとなっています。

<CEARAC フォーカルポイント会合>

	開催時期	開催地
第 7 回	2009 年 9 月	富山市

<ワーキンググループ 3・4 会合 (合同) >

	開催時期	開催地
第 4 回	2008 年夏	富山市

(3) 議事概要の採択・閉会 (8 日)

2 日間の話し合いの結果をまとめた報告書 (議事概要) を採択して、会議は終了しました。

## 別紙

### 第6回CEARACフォーカルポイント会合において認められた新規プロジェクトの概要

#### HABケーススタディの実施（ワーキンググループ3）

各国において、HABが発生し、かつモニタリングが行われている海域よりホットリージョンとして1～2海域を選定し、同海域におけるHABの発生及びその時の環境条件に関する情報交換の方法についての検討を行うことにより、NOWPAP4か国におけるHABの発生、環境条件について、最も効率的かつ省力的に情報交換を行うための手法の開発を図るとともに、ケーススタディレポートとして共通の懸念項目について取りまとめる。

#### HAB統合ウェブサイトの構築（ワーキンググループ3）

NOWPAP地域におけるHABに対する活動を促進するため、各国専門家の協力を得てウェブサイトによる情報の公開・更新のあり方の検討を行い、他の国際機関のウェブサイトとの連携によって、HABに関連する情報を提供し共有するための統合ウェブサイトを構築する。

#### 海洋環境リモートセンシングデータ活用教材の開発（ワーキンググループ4）

NOWPAP地域における沿岸環境保全に携わる学生、若手研究員、沿岸管理者等が衛星データを有効に活用できるよう、沿岸環境保全に係るリモートセンシングデータの収集・解析・評価を行うための教材を開発する。

#### 第2回リモートセンシングトレーニングコースの開催（ワーキンググループ4）

第1回トレーニングコースの開催結果を踏まえ、学生、若手研究者、沿岸管理者がリモートセンシングデータを利用するための有効な技能や知識を得るためのトレーニングコースを開催する。

#### NOWPAP富栄養化状況評価手順書の作成（ワーキンググループ3及び4合同）

NPECで開発する富山湾を実験海域とした沿岸環境富栄養化評価手法をもとに、リモートセンシング技術を活用したNOWPAP参加国共通の海域富栄養化状況評価のための手法を開発する。

#### NOWPAP 海洋ごみ地域活動計画（RAP MALI）に基づく CEARAC 海洋ごみ活動

第12回NOWPAP政府間会合において原則的に採択された、NOWPAP 海洋ごみ活動(MALITA)の成果の1つである地域海計画（RAP MALI）に基づいて、CEARAC では以下の事項について活動を実施する。

- ・啓蒙活動のための資料作成
- ・各国モニタリングからのデータの収集
- ・海洋ごみ調査結果の解釈
- ・海岸の海洋ごみの除去を含む廃棄物管理の優良事例集